



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2020年03月16日 第961号「週刊五十嵐レポート」

トイレが届かない

3月11日、世界保健機関(WHO)は世界で感染が広がる新型コロナウイルスについて「パンデミック(感染症が世界規模で同時に流行する)とみなせる」と表明。人の行き来がほぼ鎖国状態になった。さらに生産が止まっている。モノが届かない状態。

水道業A社長、「既に2月中旬以降TOTOは商品(トイレ)の生産が遅れることを発表した。大手卸売業者に買い占められ、商品がない状態。リクシル、パナソニックも同様。私は受注先の分は確保できているが、新規は受けられない」。工務店B社長、「リフォームの仕事はほぼ終わったが、トイレだけが未納。調達できていない。お客にコロナの影響を伝え、理解してもらっている。引渡しが終わっていないので代金は回収できていない」。

行きつけの繁盛店の新宿イタリアンレストランは昼も夜も客足は半減。食べに行くというより、応援に行くという感じ。レストランの社長、「2月は前年度をキープしたが、3月は今現在前年度比30%減。自己責任型の顧客が2,3人であって来店。有難い。昨年12月からFL(材料費・人件費)コストを改善していたおかげで、なんとかトントンでいけそう」。3割減なら御の字。

上場企業も直撃。ティーケーピー(貸会議室サービス)は株価64%減(3/13)。自己資本比率10.5%。有利子負債733億円。現金119億円(前期)。エイチアイエス(旅行・ハウステンボス)は株価54%減(3/13)。自己資本比率14.7%。有利子負債2,684億円。現金1,914億円(前期)。財務体質が脆弱な上場企業は決して安全ではない。

まずは現金。社長塾に参加されている会社は、不測の事態に備え、現金(内部留保)を多めに持っている。それでも安心料として江戸川区(自治体)の「ウイルス緊急対策融資」1,000万円を申請している。現金を多めに持っていれば、あわてずに普段できなかったことができる。製造業C社長は、今は得意先に訪問することも禁止状態なので、社内で営業マンを集めて、自らインストラクターになって社員研究を行った。

当面お金を潤沢にして、やるべきことをやっていく。終わりは来る。

ちょっと
気になる出来事

日経新聞の3面に「国内の新型コロナウイルス感染者」(前日午後9時半現在)が表示されている。10日間の推移を追ってみた。

3月	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
感染数A	328	399	438	479	507	552	608	668	707	749
A増加数		71	39	41	28	45	56	60	39	42
退院数B							103	108	120	120
B増加数								5	12	0
A-B							505	560	587	629

今後の推移を見ていかないとまだ解らないが、感染者数の増加数が13日、14日は11日、12日より少なくなっている。退院者の増加数がまだ感染者の増加数を上回っていない。上回っていかないとA-B(実質感染者)が下がらない。下がり始めてコロナウイルスが弱まりはじめたことを意味する。959号の中国の教えによると、日本は「盛」の状態。まだ「弱」になっていない。もうしばらく我慢か。



一口メモ
知識

「どうすれば」「次にどうするか」

失敗したことを「何でこうなったのか」といくら考えても、意味がありません。

なったことは、なったことなのだから。

大切なのは、

「ではどうすればいいのか」

「次にどうするのか」

と考えることです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

